

明科複合施設が使用開始に

この度、明科総合支所と明科公民館の機能を備えた「明科複合施設」の公民館棟が完成し、昨年12月25日から使用開始となりました。明科地域の新たなまちづくりの拠点を紹介します。

●明科複合施設（総合支所・公民館）
 総合支所 TEL 62・3001 FAX 62・4747
 公民館 TEL 62・4605 FAX 62・5894



明科複合施設完成予想図（図左側の講堂棟は平成25年9月完成予定）



展示やイベントにも活用できる エントランスホール 2階ホール

来館者を出迎える施設中央のエントランスホール。鉄平石が敷き詰められ、床暖房を備えています。待合や憩いの場として、また、2階ホールと共に展示スペースなど多目的に使うことができます。



大部屋として使える 和室1・2

和室1は27畳、和室2は18畳相当で、両部屋を一緒に使うことができます。



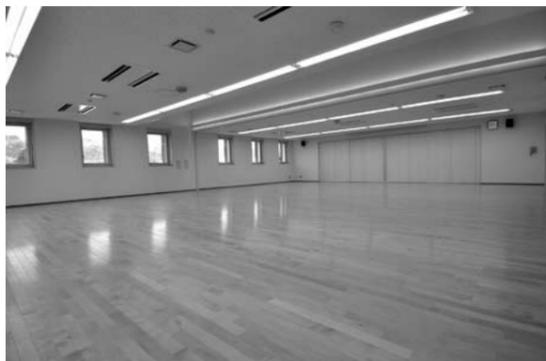
和室3

和室3は12畳相当。



明るく設備の整った 調理実習室

調理台5台のほか、ホームベーカリー3台を備えた明るい調理実習室。



防音・音響機器が備わった 講義室1・2

防音施工がされ音響機器・プロジェクター・鏡が備わっており、講義や小規模な芸能発表にも利用できます。また、部屋は間仕切りすることで分けて利用できます。

創作室



小会議や教室に 会議室2



総合支所窓口

自然光を取り入れた明るい 施設

旧明科公民館と同等の部屋数と広さがあり、施設内は自然光を取り入れ、明るさと開放感、暖かさを確保しています。



特集◎ 明科複合施設 —新たなまちづくり拠点

地域の皆さんの声

まちづくりの アイデアを発信



明科地域審議会会長
宮川 智江 古さん
(明科)

安曇野市が誕生して最初に新しくなった地域活動の拠点です。この施設に大勢の市民の皆さんが集い、明科地域からまちづくりのアイデアを発信していければと思います。

今まで出来なかった 活動をしたい



横内 健人 さん
(明科中川手)

育成会の活動をしています。設備が整い、これからは今までできなかった活動が子どもたちとできるようになりました。より地域の一体感が感じられる活動ができそうです。

●記念イベントを開催

プレオープン記念イベントが、昨年12月25日、施設内で行われました。宮澤市長らによるテープカット、「わが町」・「明科音頭」の披露、お汁粉の振る舞いのほか、明科地域への思いを記した色紙を飾り付けたクリスマスツリーも展示され、市民の皆さんとともに施設の使用開始を祝いました。
 宮澤市長は「市民の皆さんが気軽に立ち寄り、協働のまちづくり、地域防災の拠点として施設を運営していきたい」と話しました。



テープカットをする宮澤市長（中央）



「みんなが笑顔で明るく住み良い街に」と願いが込められたクリスマスツリーの飾り



「わが町」の合唱

●明科庁舎の歴史

- 昭和29年
 - 合併により旧明科町が誕生。それまでの中川手村役場が庁舎になる
- 昭和39年
 - 旧明科町役場庁舎を建設、昭和45年、48年、53年に庁舎増築工事を行う
- 平成17年10月
 - 安曇野市誕生。旧明科町役場庁舎は支所機能と教育委員会機能を併せもつ明科総合支所になる



48年間、明科地域の行政・地域活動の拠点として使われた明科庁舎

- 平成24年1月
 - 明科複合施設建設開始
- 平成24年12月
 - 明科複合施設（公民館棟）が完成し、使用開始
- 平成25年1月
 - 旧明科庁舎解体
- 平成25年9月
 - 明科複合施設（講堂棟）完成予定